



水面に時折白波の立つ北西風がありましたが、気温の上昇とともに気にならなくなりました。鳥も身の軽い虫も風の強い日は苦手なようで(葉もめくり上がるのでよく見えないのもあります)期待したほどは出会えませんでした。しかし昨日の雨で空気は澄み、猿投山がきれいに見えました。



春の使者・ビロードツリアブ

全身ビロードのような毛で覆われ、ホバリングを見ることの多いアブです。止まるのを待っていたら見えなくなっていました。春先のこの時期のみ見られるアブで、春の使者にふさわしい昆虫です。(日進市五色園で撮影)



イロハモミジ(イロハカエデ)

これは両生花です。おしべだけの雄花(右)と混ざって咲いています。風媒花です。



オランダ

ミミナグサ(ヨーロッパ原産)

めしべの先が5つに分かれています。在来種は

花がまばらで葉に赤みがあり少ない。



シロブチ

サラグモ

体長6ミリの雄(頭部にある触肢の先が膨らんでいる)。側溝に網を張っていました。



コバノミツバツツジ

ソメイヨシノのように葉より先に花を咲かせ、まだ花の少ない雑木林に彩りを添えています。



クリチャササグモ

体長7ミリの。草の葉の上などで獲物が通りかかるのを待ち、飛びかかって捕まえる。そのため脚に長い毛がある



ルリタテハ

羽を開くと水色の帯模様が美しい蝶です。羽を閉じて止まると茶色く目立ちません。幼虫はサルトリイバラやサルマメなどを食べます。



アリアケスマレ

アスファルトの道と側溝のコンクリートの隙間に列を作って生えていました。白い花と緑の葉のコントラストが美しいです。



ザイフリボク

細長い5弁花が密生しています。ザイフリのザイは采配(右)に由来しています。



カワウ

強風に負けずに卵を抱いていました。



ハナイバナ

ムラサキ科の花。端の土手に群生していました。



キリギリス幼虫

10ミリくらいでよく跳ね、タンポポの花でよく見かけます



ヒメキベリ

トゲハムシ

体長5ミリ。以前はトゲトゲとよばれていました。

植物 カラスノエンドウ、スズメのエンドウ、カスマグサ、ヤエムグラ、オランダミナグサ、セイヨウカラシナ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、葉を食べ尽くされたカタバミ、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、ハナイバナ、マツバウンラン、タネツケバナの仲間、アリアケスマレ、ニオイタチツボスマレ、ヒメスマレ、マキノスマレ、サルトリイバラ雄花、イロハモミジ、新芽を食われた

アラカシ、ヒサカキ雌花終わり、ザイフリボク満開、ソメイヨシノ・オオシマザクラ・ヤマザクラ散り始め、アラカシ新葉立ち上がる、マメガキ新葉、イソノキ新葉、タカノツメ新葉、コナラ雄花蕾、ミヤマガマズミ、ケヤキ花蕾、マモモ雄花雌花、ネズ雄花、アカメガシワ新葉、タブ膨らむ、オオバヤシャブシの雄花のにおい、**昆虫・クモ** ルリタテハ、シャクガの一種幼虫、ヤニサシガメ群れる、ヒゲナガアブラムシの一種(ヤエムグラ)、ホソセスジゲンゴロウ、ナナホシテントウと蛹、ヒメキベリトゲハムシ(トゲトゲ)、ヒシバツタ、キリギリス幼虫、ナミハナアブ、ピロードツリアブ、ユスリカの一種、クロヤマアリ、ウメマツオオアリ、(クモ)シロブチサラグモ、クリチャササグモ、ウヅキコモリグモ雌雄と卵のう、アリグモ雌、ミドリアシナガグモ、**鳥・その他** ヒバリ、スズメ、ツバメ、キジバト、ヤマガラ轉り、ハシボソガラス、カイツブリ、オオバン、カワウ営巢、ゴホントゲザトウムシ、カナヘビ、トカゲ幼体、ネザサの稈(かん)に黄色い物質がつく、タマキクラゲ

次回は5月9日(木)、午前9時30分～12時、水資源機構P前集合、参加費100円